

# 環境教育 「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市沢川町三丁目5番地7  
 (沢川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



笠寺観音(笠履寺) 宝暦十三年(一七六三)建造歴代天皇の時代に権光上人が彫った土師観音

日本橋から341キロ  
**東海道第卅宿**  
**鳴海 なるみ**  
**東海道五十三次**  
 鳴海宿には織田信長と今川義元の「桶狭間合戦」の戦場がある。地形を観察して信長の作戦の妙を味わってみよう。有松絞りとは有名な有松は古い町並みに伝統の技が息づく町。織細緻密な絞りの文様に目を奪われる。

有松は慶長十三年(一六〇八)に尾張藩にまつて作られた村であった。知多郡から竹田庄九郎の八名がこの地に移住したが新しい土地で収入の道がなす苦難の日々を送っていた。こんな中庄九郎は九州から名工屋城築城に来ていた人の絞り染めの手ぬぐいにヒントを得絞りの技術を得得。この地に有松絞りという新しい産業を生み出した。有松絞りは尾張藩の保護を受けて発展をしていった。



知立と鳴海の間の宿有松。尾張藩の保護をうけて莫大の絞りの産地として繁栄。三八〇年の伝統の技法を伝える。豪華なたかまの町屋が連なっており、市の町並保存地区になっている。そのなかにには県指定文化財の井桁屋。心かい側には、有松鳴海絞会館。会館のすぐ左手、駐車場の前には絞りの開祖竹田庄九郎の碑。